

2023.8.30 壇2023 選15句

①

ずんぐりと花粉柱や玉椿

菊の葉の上へ上へと花はまだ

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

台風に咲く朝顔のありにけり

発泡スチロールを運ぶ花筏

火吹竹火は吹かねども先が焦げ

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

通快のドアに白シャツ押し付けて

三階へ隠し階段夏館

閉ぢ込めし浮輪の空気海見えず

一寸だけ使ふドアノブ新樹の夜

空といふ大きな器いわし雲

湯あがりのやうなコロッケ秋の暮

秋晴の天下すなはち日本晴

蜻蛉の交みて飛べる日本晴

12行3段組14ボ BIZ 明朝 Wed 太 2023年8月30日 10:41 ↑桐10

太ろと 8:31 5:50 am

次々 8:31 6 am

朝に咲く朝顔のありにけり 8:31

5:56 am

朝に咲く朝顔の花 6:5 am

朝の朝顔 6:6 am

朝の朝顔 6:6 am

8:30 18:35

その土地にその土地の朝顔
いあーん
8:31 5:55 am

天上下 8:31 6:7 am

2023・∞・31【俳壇賞2023A】

2

選17句

12行3段組14ポ BIZ UN明朝 Med 太 2023年8月31日 11:10 へ1 桐10

白と黄の花粉柱や玉椿

一寸だけ廻すドアノブ星月夜

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

蜻蛉の交みて飛べる日本晴

発泡スチロールを運ぶ花筏

菊は葉を広げ伸びゆく花はまだ

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

台風に咲く朝顔のありにけり

通快のドアに白シャツ押し付けて

火吹竹火は吹かねども先が焦げ

屋根裏へ隠し階段夏館

閉ぢ込めし浮輪の空気海を見せず

海にぬく浮輪の中の

空といふ大きな器いわし雲

いづれかある

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

天高く翩翩たるや日章旗

秋晴の天上天不日本晴

その土地にその土地の空いわし雲

その土地にその土地の空
いわし雲
12:43

秋澄けり 14:20

12:33

14:35

8:31

14:17

8:31
12:31

3

白と黄の花粉柱や玉椿 一寸だけ廻すドアノブ星祭

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ 蜻蛉の交みて飛べる日本晴

発泡スチロールを入れて花筏 台風に咲く朝顔のありにけり

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

通快のドアに白シャツ押し付けて

屋根裏へ隠し階段夏館

海に浮く浮輪の中の空気かな

秋澄みて天上天下日本晴

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

天高く翩翩たるや日章旗

空といふ大きな器いわし雲

この町に我ががための鰯雲

この町の 2:48am

この町の 9:12:45 am

住む人 2:46 am

町の 6:30 am

町の 6:50 am

町は秋

6:45 am

あか(町)に あか(町)の 9:16:20 am

2023・6・1【俳壇賞2023 A 全62】選15句

12行3段組14ポ BIZ UD明朝 Wed 太 2023年9月1日 09:17 ↑1桐10

白と黄の花粉柱や玉椿

一寸だけ廻すドアノブ星祭

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

蜻蛉の交みて飛べる日本晴

発泡スチロールも入れて花筏
・ 台風に咲く朝顔のありにけり

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

通快のドアに白シャツ押し付けて

屋根裏へ隠し階段夏館

海に浮く浮輪の中の空気かな

秋なれや天上天下日本晴

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

天高く翩翩たるや日章旗

空といふ大きな器いわし雲

わが町にわが町の空いわし雲

4

(73)

日本の朝は 9:25 7am

早く明しく 9:20 am

秋の暮 7:20 am

押し付けられ 9:25 am
押し付けられ 7:10 am

この町の朝は 9:20 am
この町は 7:20 am

3

白と黄の花粉柱や玉椿

わが町にわが町の空いわし雲

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

一寸だけ廻すドアノブ星祭

発泡スチロールも入れて花筏

蜻蛉の交みて飛べる日本晴

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

台風に咲く朝顔のありにけり

通快のドアに白シャツ押し付けられ

屋根裏へ隠し階段夏館

海に浮く浮輪の中の空気かな

秋なれや日本の空の日本晴

湯あがりのやうなコロッケ秋の暮

天高く我らが国の日章旗

空といふ大きな器いわし雲

この町に住んで楽しき鯛雲

5

2023・6・2【俳壇賞2023A】

6

選15句

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

蜻蛉の交みて飛べる日本晴

白と黄の花粉柱や玉椿

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

発泡スチロールも入れて花筏

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

屋根裏へ隠し階段夏館

通快のドアに白シャツ押し付けられ

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

海に浮く浮輪の中の空気圧

一寸だけ廻すドアノブ星祭

日本晴秋の天下となりにつけり

空といふ大きな器いわし雲

台風に咲く朝顔のありにけり

何処までも実りの秋の日本晴

12行3段組14ポ B17 5明朝 Wed 太 2023年9月2日 16:50 ↑ 桐10
秋津写 9.2 17: 20

2023・9・3 【俳壇賞2023A】

選14句

12行3段組14ポ BIZ 明朝 Wed 太 2023年9月3日 06:03 へ1 桐10

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、つくしんぼ

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

白と黄の花粉柱や玉椿

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

発泡スチロールも入れて花筏

屋根裏へ隠し階段夏館

チャーハンを宙に舞はせて夏楽し

通快のドアに白シャツ押し付けられ

海に浮く浮輪の中の空気圧

一寸だけ廻すドアノブ星祭

日本晴天下の秋となりにけり

空といふ大きな器いわし雲

台風に咲く朝顔のありにけり

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

7

B ↑

ヘクヲカズラヘクトリスカル
とばあやの 9.125 am

2023・9・3 【俳壇賞2023A】

選21句

12行3段組14ポ

BIZ 5明朝 Med

太 2023年9月3日

18:33

↑ 桐10

春の草摘んでお菓子屋さんごっこ

日本晴天下の秋となりにけり

白と黄の花粉柱や玉椿

空といふ大きな器いわし雲

発泡スチロールも入れて花筏

澄む水の如き老女の句集なり

桜貝器量悪しきは捨つべきや

台風に咲く朝顔のありにけり

屋根裏へ隠し階段夏館

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

実を取られ玉蜀黍の枯れ輕し

通快のドアに白シャツ押し付けられ

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

海に浮く浮輪の中の空気圧

秋の夜の夜間飛行のパイロット

注目くださいと薔薇咲き初むる

平岡正白の茶の味は如か

青空の青を違へて秋近し

鶴と彼女とくと

一寸だけ廻すドアノブ星祭

夜

8

晴れ渡す 9:4 4:32 am

9:39 am 4:41 am

9:33 23:40

9:4 4:17 am

2:50 am

9:4 4:35 am

15:10

4:4 am

雨の日の夕に新しき海の花

雲を地に引きたるは

海をみえて秋候のしんごま

花のやしのとやに花は

はたはまきり

大空のさへ七弦にかさづけ

2023・9・4【俳壇賞2023A】

9

選22句

12行3段組14ポ BIZ 日明朝 Wed 太 2023年9月4日 23:19 ↑ 1 ↓ 桐10

白と黄の花粉柱や玉椿

空といふ大きな器いわし雲

発泡スチロールも入れて花筏

澄む水の如き老女の句集なり

桜貝器量悪しきは捨つべきや

台風に咲く朝顔のありにけり

屋根裏へ隠し階段夏館

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

実を取られ玉蜀黍の枯れ軽し

通快のドアに白シャツ押し付けられ

実を取られ玉蜀黍の枯れ始む

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

雨の日の特に寂しき海の家

湯あがりのやうなコロッケ秋の暮

海に浮く浮輪の中の空気圧

青空の青を違へて秋深し

ご注目くださいと薔薇咲き初むる

秋の夜の夜間飛行のパイロット

一寸だけ廻すドアノブ銀河の夜

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

晴れ渡る天下の秋となりにけり

土地土地にその土地の土を

9.5 7:40 am

る 9.5 7:15 am

落は 9.5 2:30 am

9.5 2:15 am

全99

12行3段組14ポ

BIZ 5明朝 5p2

太 2023年9月5日 08:31 <1 > 桐10

白と黄の雄蕊を太く玉椿

澄む水の如き老女の句集なり

発泡スチロールも入れて花筏
・ 台風に咲く朝顔のありにけり

桜貝器量悪しきは捨つべきや
蜻蛉の交みて飛べる秋津島

屋根裏へ隠し階段夏館
栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し
湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

通快のドアに白シャツ押し付けられ
青空の青を違へて秋深し

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ
一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

海に浮く浮輪の中の空気圧

雨の日の海は寂しや海の家

ご注目くださいと薔薇咲き初むる

晴れ渡る天下の秋となりにけり

土地土地にその土地の空いわし雲

エんておる 9.5 12.50

老女の句集なり
をうけり 9.5 12.50

10

老女の句集なり

2023・9・5【俳壇賞2023A】選21句

11

12行3段組14ポ B12 日明朝 Wed 太 2023年9月5日 16:00 へ1 桐10

白と黄の蕊を太々玉椿 雲ひとつ天下の秋に浮ばせて

花の雨レントゲン車に社員消ゆ 土地土地にその土地の空いわし雲

発泡スチロールも入れて花筏 澄む水の如き老女の句なりけり

桜貝器量悪しきは捨つべきや 台風に咲く朝顔のありにけり

屋根裏へ隠し階段夏館 蜻蛉の交みて飛べる秋津島

ほたるは光りががんばは踊るなり 栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し 湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

通快のドアに白シャツ押し付けられ 青空の青を違へて秋深し

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ 一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

海に浮く浮輪の中の空気圧

雨の日の海は寂しや海の家

ご注目くださいと薔薇咲き初むる

の 2/38 5.5 17.00
E柱にけり 太々玉椿
17.7

108

2023・9・5【俳壇賞2023A】選23句

12 12行3段組14ポ BIZ 明朝 Wed 太 2023年9月5日 23:13 ↑ 桐10

白と黄の太き柱を玉椿 ご注意くださいと薔薇咲き初むる

花の雨レントゲン車に社員消ゆ 雲ひとつ天下の秋に浮ばせて

発泡スチロールも入れて花筏 土地土地にその土地の空いわし雲

桜貝器量悪しきは捨つべきや 澄む水の如き老女の句なりけり

屋根裏へ隠し階段夏館 台風に咲く朝顔のありにけり

ほたるは光りががんばは踊るなり 蜻蛉の交みて飛べる秋津島

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し 栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

通快のドアに白シャツ押し付けられ 次の世は赤を極めし毒菌

んぼと言ふ田んぼ 赤んぼ、さくらんぼ 湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

推敲を重ね重ねし雲の峰 青空の青を違へて秋深し

海に浮く浮輪の中の空気圧 一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

雨の日の海は寂しや海の家

~~苦草と云ふ田んぼ 6:55am~~

~~花の雨と云ふ田んぼ 6:56am~~

~~世々と云ふ田んぼ 赤んぼ、さくらんぼ 9:30am~~
~~んぼと言ふ田んぼ 赤んぼ、さくらんぼ 7:30am~~
~~推敲を重ね重ねし雲の峰 9:6 6:50am~~

~~浮かべ 送られて 9:6 6:35am~~

雲の峰 平らな川 収めると 11:2 9:6 am

手は不存れど かやや あつた なかど

14

136

白と黄の太き柱を玉椿

海に浮く浮輪の中の空気圧

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

水色の剥げたる氷掻き機かな

青空の青を違へて秋深し

発泡スチロールの白き花筏

台風に咲く朝顔のありにけり

桜貝器量悪しきは捨つべきや

雨の日の海は寂しや海の家

アテンション・プリーズと薔薇咲き始む

雲ひとつ天下の秋に浮ばせて

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

土地土地にその土地の空いわし雲

ほたるは光りががんぼは踊るなり

澄む水の如き老女の句なりけり

まいまいをくるり一物仕立かな

流星を迎へ撃つべく富士の山

チャールハンを宙に舞はせて夏樂し

一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

通勤電車ドアに白シャツ押し付けられ

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

ビルの上ののし上りたる雲の峰

栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

屋根裏へ隠し階段夏館

次の世は赤を極めし毒菌

2023・9・9【俳壇賞2023A】選27句

15

12行3段組14ホ BIZ 5明朝 Wed 太 2023年9月6日 19:47へ1 桐10

白と黄の太き柱を玉椿 海に浮く浮輪の中の空気圧 次の世は赤を極めし毒菌

花の雨レントゲン車に社員消ゆ 水色の剥げたる氷掻き機かな 湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

発泡スチロールも混じる花筏 雨の日の海は寂しや海の家 青空の青を違へて秋深し

桜貝器量悪しきは捨つべきや 台風に咲く朝顔のありにけり

アテンション・プリーズと薔薇咲き始む 雲ひとつ天下の秋に浮ばせて

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ 土地土地にその土地の空いわし雲

ほたるは光りががんばは踊るなり 澄む水の如き老女の句なりけり

まいまいをくるり一物仕立かな しづかなる雨のおもたき九月かな

チャーハンを宙に舞はせて夏楽し 流星を迎へ撃つべく富士の山

通勤電車ドアに白シャツ押し付けられ 一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

マンションにのし上りたる雲の峰 蜻蛉の交みて飛べる秋津島

屋根裏へ隠し階段夏館 栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

のしあがりの 2222の 29 5:30
2222 23:25 am
23:45 am

マンションにのし上りたる雲の峰
3:40 am

しづかなる雨のおもたき九月かな
3:47 am

3:47 am

海に山に
6:35 am

のしあがりの如く巨大な
6am

花筏の至りの巨大な雲の峰
7:50 am

2023・9・7【俳壇賞2023A】選27句

(16) 152

(17)

20

イニウヤゴをし

12行3段組14ポ BIZ 明朝 Med 太 2023年9月7日 09:31 < 1 > 桐10

白と黄の太き柱を玉椿 海に浮く浮輪の中の空気圧 次の世は赤を極めし毒菌

花の雨レントゲン車に社員消ゆ 水色の剥げたる氷掻き機かな 湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

発泡スチロール混入花筏 雨の日の海は寂しや海の家 青空の青を違へて秋深し

桜貝器量悪しきは捨つべきや 台風に咲く朝顔のありにけり

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ 雲ひとつ天下の秋に浮ばせて

アテンション・プリーズと薔薇咲き始む 土地土地にその土地の空いわし雲

ほたるは光りががんぼは踊るなり 澄む水の如き老女の句なりけり

まいまいをくるり一物仕立かな 二三日雨の重たき九月かな

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し 流星を迎へ撃つべく富士の山

通勤電車ドアに白シャツ押し付けられ 一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

推敲の果ての巨大な雲の峰 蜻蛉の交みて飛べる秋津島

屋根裏へ隠し階段夏館 栗鼠忙し両手づかみに木の実食ふ

ちいっちょよんで

ふりかけと同じサイズの種子袋

△通勤電車ドアに白シャツ押し付けられ

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

白と黄の太き柱を玉椿

海に浮く浮輪の中の空気圧

△紫の煙紅葉を焚きたれば

エレベーターで我家へ上るシクラメン

水色の剥げたる氷掻き機かな

朝顔の種採ることも五十年

風船に連れ去られたる長き紐

雨の日の海は寂しや海の家

いざとなれば焚くべき書あり冬籠

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

プツプツプツポーン秋晴限りなし

△枯れてゆくものの風音聞いてやろ

発泡スチロール混入花筏

△澄む水の如き老女の句なりけり

降る雪に雪町書店はや閉まる

戦時下の虚子が詠みたる仔猫の句

朝顔にシュツと色なき部分あり

△朝顔の種採る人の五十年 23:13

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

流星を迎へ撃つべく富士の山

まいまいをくるり一物仕立かな

△一寸だけ廻るドアノブ銀河の夜

濁点の多きがの字よががんぼよ

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

虫偏に非ざる虫もすいつちよん

推敲の果ての巨大な雲の峰

次の世は赤を極めし毒菌

2023・9・12 俳壇賞2023A

「ふの字」

選27句

12行3段組14ポ

BIZ 明朝 Wed 太 2023年9月12日 11:22へ1 桐10

R? △ あたたかや子の覚えたるあいうえお

ふんえをてるよ 14:00

おまへやく 13:55

ふりかけと同じサイズの種子袋

海に浮く浮輪の中の空気圧

白と黄の太き柱も玉椿

△ 水色の剥げたる氷掻き機かな

フラしかしろない世代はて

エレベーターで我家へ帰るシクラメン

雨の日の海は寂しや海の家

風船に連れ去られたる長き紐

プツプツプツポーン秋晴限りなし

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

朝顔のシュツと色なき部分かな

発泡スチロール混入花筏

流星を迎へ撃つべく富士の山

戦時下の虚子の作りし仔猫の句

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

虫偏に非ざる虫もすいつちよん

まいまいをくるり一物仕立かな

次の世は赤を極めし毒菌

濁点の多きがの字よががんぼよ

湯あがりのやうなコロツケ秋の暮

チャーハンを宙に舞はせて夏楽し

朝顔の種採ることも五十年

いぎとなれば焚くべき書あり冬籠
降る雪に雪町書店はや閉まる

書初のふじのふの字のむつかしき

2023・9・12【俳壇賞2023A】「ふの字」

選29句

12行3段組14ボ BIZ 5明朝 Wed 太 2023年9月12日 15:51 ← 桐10

23

あたたかや声を大きくあいうえお

推敲の果ての巨大な雲の峰

朝顔の種採ることも五十年

ふりかけと同じサイズの種子袋

曝書する縁側にその老人も

住職とこんな処で近松忌

白と黄の太き柱も玉椿

海に浮く浮輪の中の空気圧

いざとなれば焚くべき書あり冬籠

エレベーターで我家へ帰るシクラメン

雨の日の海は寂しや海の家

降る雪に雪町書店はや閉まる

風船に連れ去られたる長き紐

プツプツポーン秋晴限りなし

書初のふじのふの字のむつかしき

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

朝顔のシュツと色なき部分かな

303/505
203/305

発泡スチロール混入花筏

流星を迎へ撃つべく富士の山

戦時下の虚子の作りし仔猫の句

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

虫偏に非ざる虫もすいつちよん

↑
tw
ck

まいまいをくるり一物仕立かな

次の世は赤を極めし毒菌

濁点の多きがの字よががんぼよ

駅弁をデパートで買ふ菊日和

9:25 am
デパートの駅弁屋
9:27 am
K

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

たくさんの夕食のある秋の暮

2023・9・13 俳壇賞2023A 「ふの字」

選29句

12行3段組14ポ

BIZ 明朝 Wed 太 2023年9月13日 10:11 桐10

あたたかや大きな声であいうえお

推敲の果ての巨大な雲の峰

たくさんの夕食のある秋の暮

ふりかけと同じサイズの種子袋

曝書する縁側にその老人も

我もまた他人の空似近松忌

白と黄の太き柱の玉椿

海に浮く浮輪の中の空気圧

降る雪に雪町書店早仕舞

エレベーターで我家へ帰るシクラメン

雨の日の海は寂しや海の家

いざとなれば焚くべき書あり冬籠

風船に連れ去られたる長き紐

プッププツポーン秋晴限りなし

書初のふじのふの字のむつかしき

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

朝顔のシュツと色なき部分かな

発泡スチロール混入花筏

流星を迎へ撃つべく富士の山

戦時下の虚子の作りし仔猫の句

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

虫偏に非ざる虫もすいつちよん

まいまいをくるり一物仕立かな

次の世は赤を極めし毒菌

濁点の多きがの字よががんぼよ

デパートの駅弁祭り菊日和

チャーハンを宙に舞はせて夏樂し

朝顔の種採ることも五十年

口を大きく 16:24

24

16:22

9:14 4:10 am

2023・9・14【俳壇賞2023A】

END

「ふの字」

25

選30句

12行3段組14ポ

BIZ 5D明朝 Mod 太 2023年9月14日 11:20

あたたかや口を大きくあいうえお

チャーハンを宙に舞はせて夏楽し

朝顔の種採ることも五十年

ふりかけと同じサイズの種子袋

推敲の果ての巨大な雲の峰

たくさんの夕食のある秋の暮

白と黄の太き柱の玉椿

曝書する縁側にその老人も

我也また誰かの空似近松忌

エレベーターで我家へ帰るシクラメン

海に浮く浮輪の中の空気圧

降る雪に雪町書店灯を点す

風船に連れ去られたる長き紐

雨の日の海は寂しや海の家

いざとなれば焚くべき書あり冬籠

花の雨レントゲン車に社員消ゆ

プツプツプツポーン秋晴限りなし

書初のふじのふの字のむつかしき

発泡スチロール混入花筏

朝顔のシュツと色なき部分かな

戦時下の虚子の作りし仔猫の句

流星を迎へ撃つべく富士の山

んぼと言ふ田んぼ、赤んぼ、さくらんぼ

蜻蛉の交みて飛べる秋津島

まいまいをくるり一物仕立かな

虫偏に非ざる虫もすいつちよん

蟬の穴雨水を貯め乾かざる

次の世は赤を極めし毒菌

濁点の多きがの字よががんぼよ

デパートの駅弁祭り菊日和

日本ゴ純良 9.14.
唐を括かめん 日本ゴコロ
フ判つちよん